

付属資料2 : ASEAN

ASEANの特徴@2050年

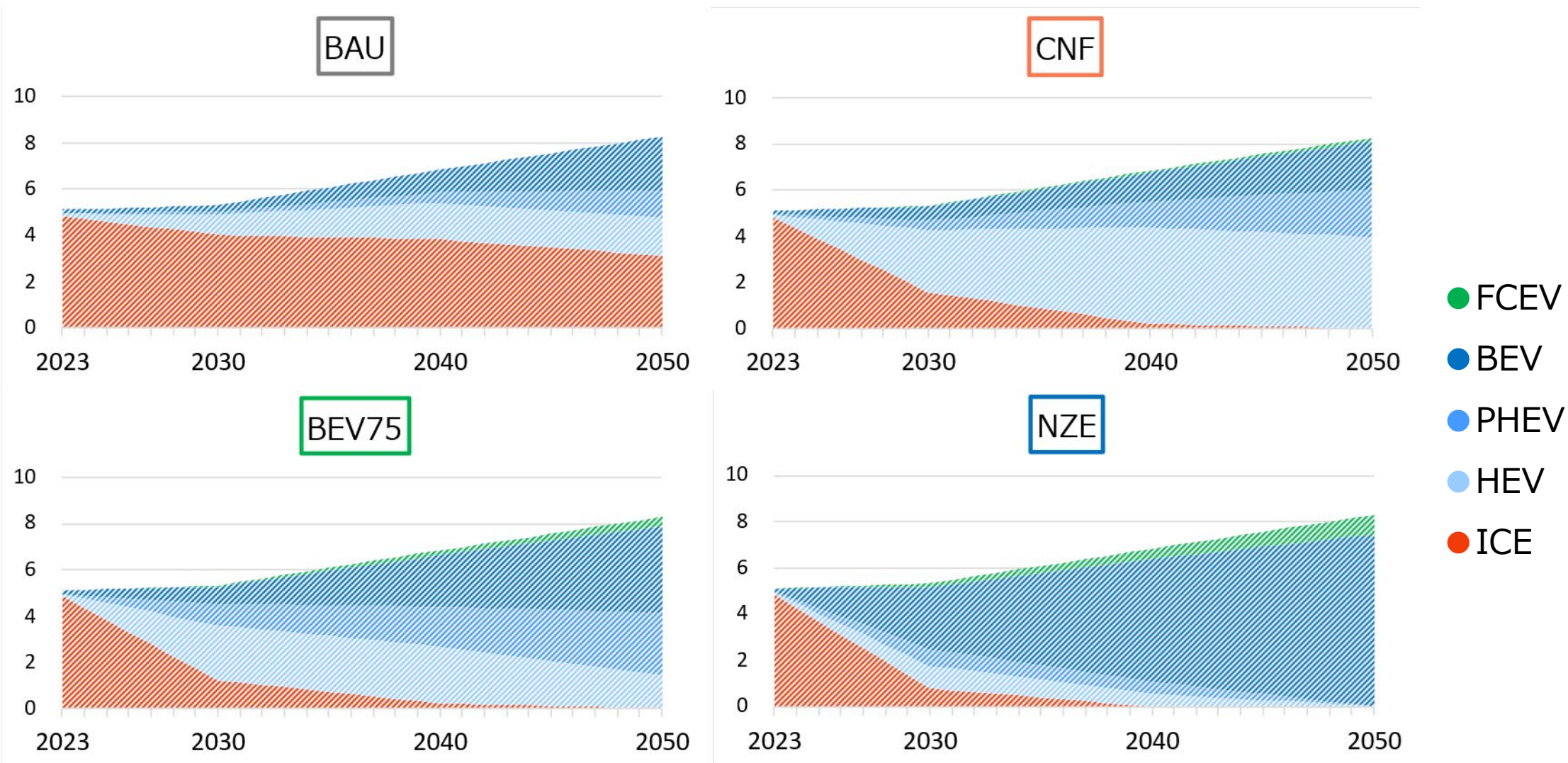
シナリオ名	特徴		2020年比CO ₂ 排出量
全シナリオ共通	市場動向	・ 新車販売・保有台数ともに四輪が大幅増、二輪は緩やかな増加	
	電源構成	・ クリーンエネルギー+CCS比率は68%	
CNF	電動車の普及	・ 新車販売構成は、乗用車でBEV・FCEVが27%となることを含め、電動化シェアが四輪で89%、二輪で80% ・ 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪で23%、二輪で74%	36%減(CNF+45%減) * 2030年に向けて増加し、それ以降は減少
	燃料構成	・ CN燃料(合成燃料・バイオ燃料)+電力+水素で60% ・ CN燃料は2023年時点の液体燃料の51%(CNF+59%)	
BEV75	電動車の普及	・ 新車販売構成は四輪でBEV・FCEV シェアが60%、二輪で88% ・ 保有構成はBEV・FCEV シェアが四輪で41%、二輪で81%	44%減 * 2030年に向けて増加し、それ以降は減少
	燃料構成	・ CN燃料+電力+水素で72% ・ CN燃料は2023年時点の液体燃料の38%	
NZE	電動車の普及	・ 新車販売構成は全車種でBEV・FCEVシェアが100% ・ 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪81%、二輪で100%	51%減 * 2023年以降減少
	燃料構成	・ バイオ燃料+電力+水素で79% (合成燃料は0想定) ・ バイオ燃料は2023年時点の液体燃料の8%	

* CNF+ : 合成燃料供給量を2050年のSAFの1/2程度をFT合成で製造と仮定した場合で、CN燃料供給量はCNFの1.2倍程度。増加分を、電源脱炭素化が容易でないアフリカ、中東、インド、ASEANにより多く割り当てたシナリオ

CO₂排出量は2020年比で36%～51%の削減
(一部 IPCC 第3作業部会-第6次評価報告書 1.5℃シナリオの削減幅42～68%減と同水準)

ASEANの新車販売構成（乗用車）

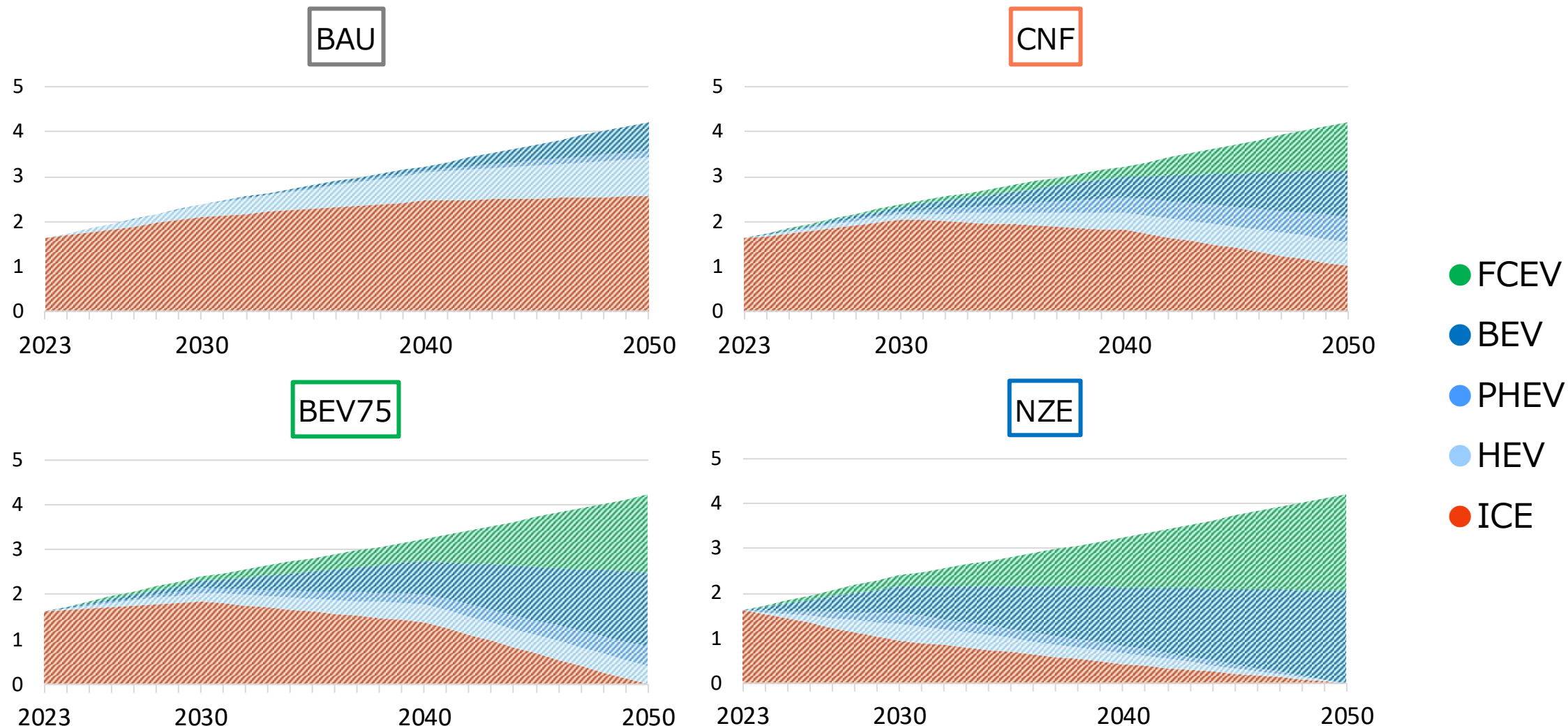
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

ASEANの新車販売構成（トラック・バス）

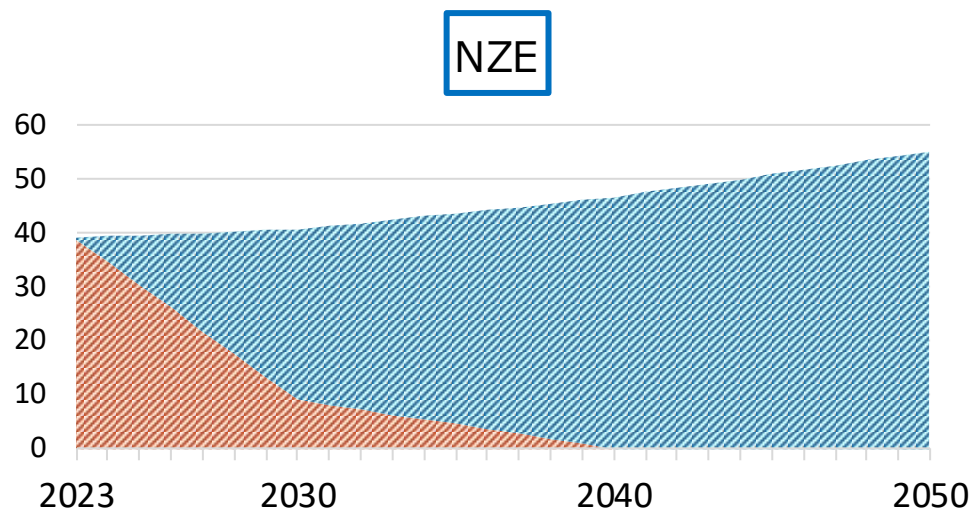
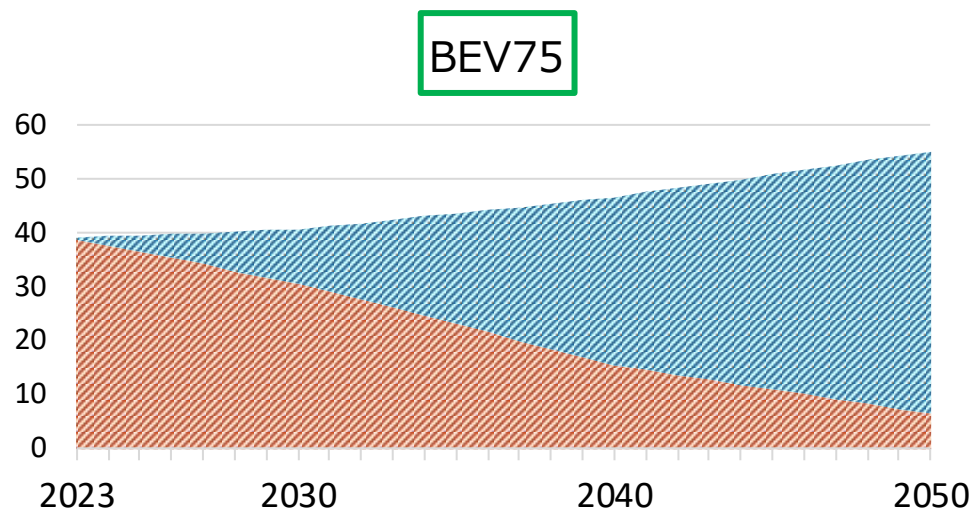
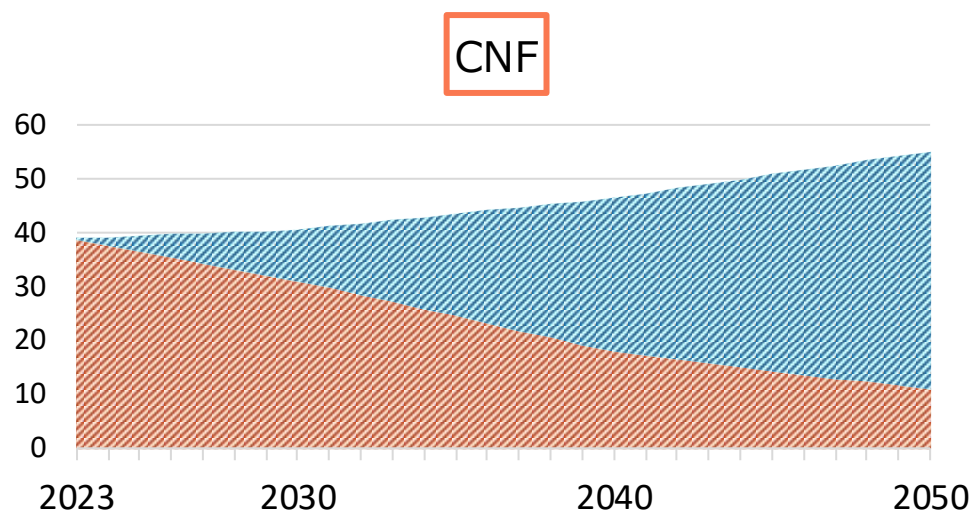
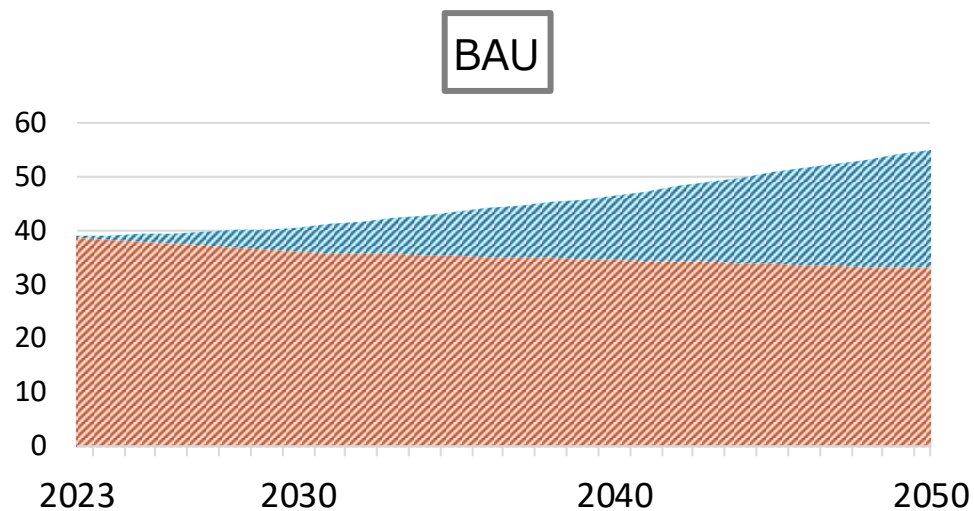
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

ASEANの新車販売構成（二輪車）

（単位：百万台）

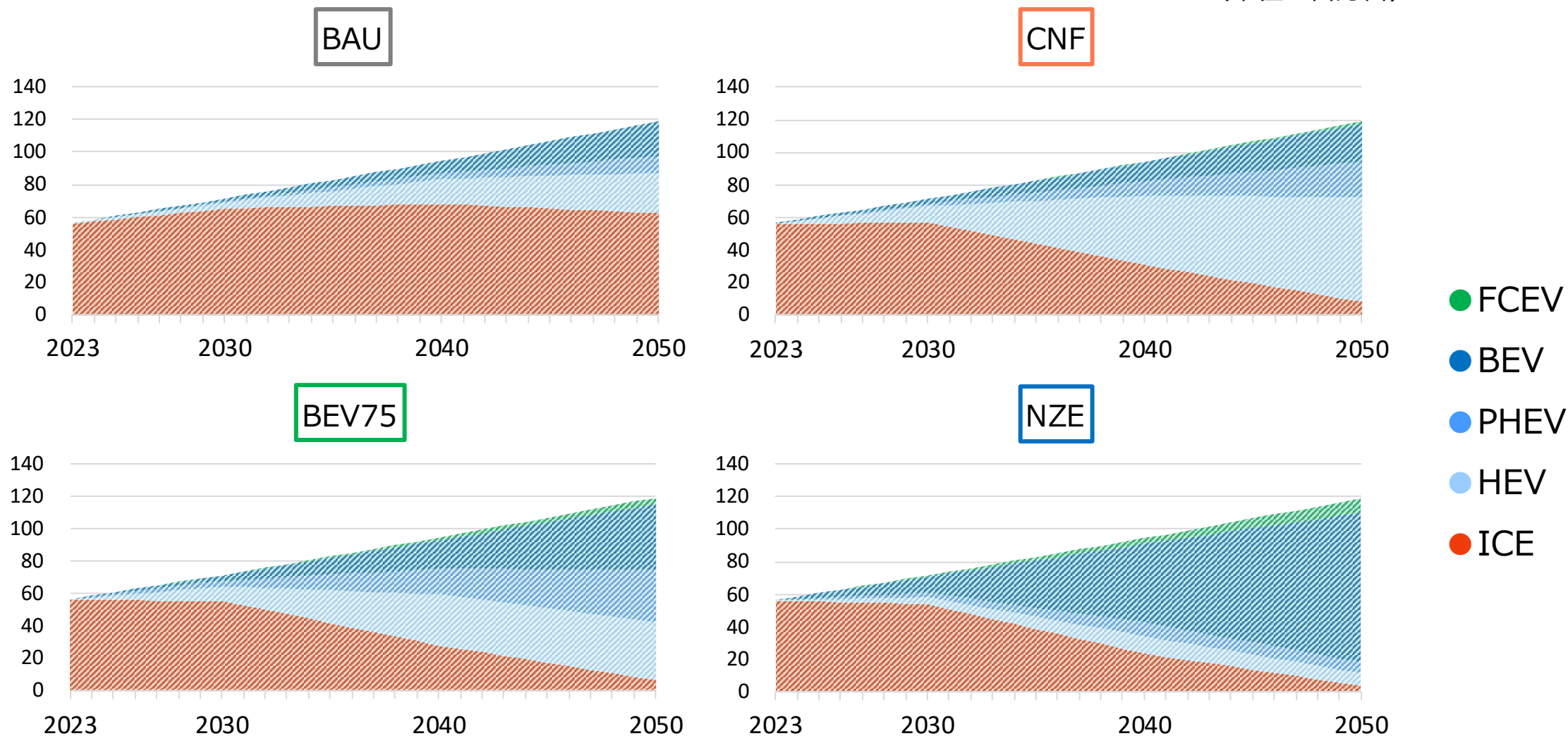


● BEV
● ICE

* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

ASEANの保有構成（乗用車）

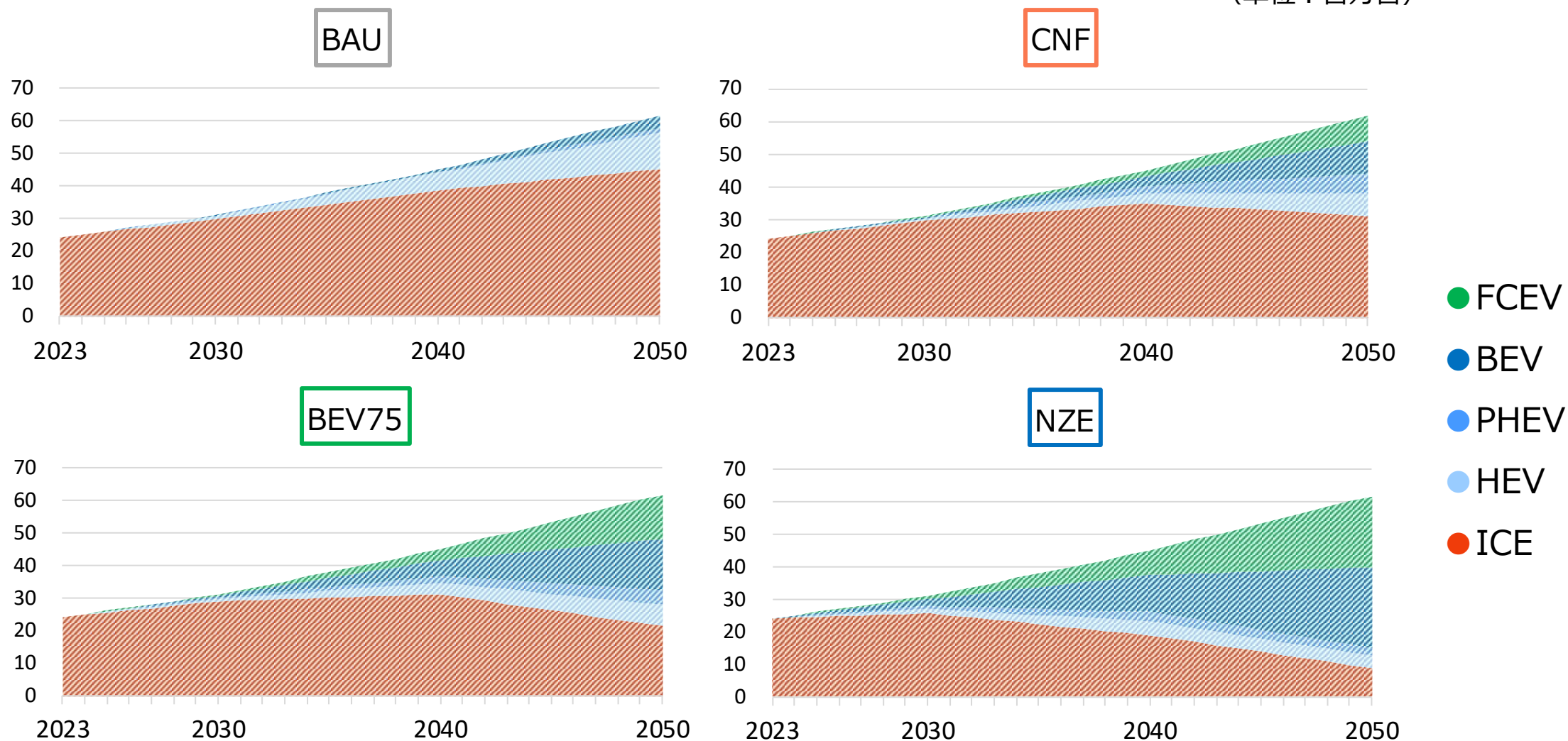
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
 将来値は、保有台数の合計は「[IEEJ Outlook 2026】\(2025年発表\)](#)」、パートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

ASEANの保有構成（トラック・バス）

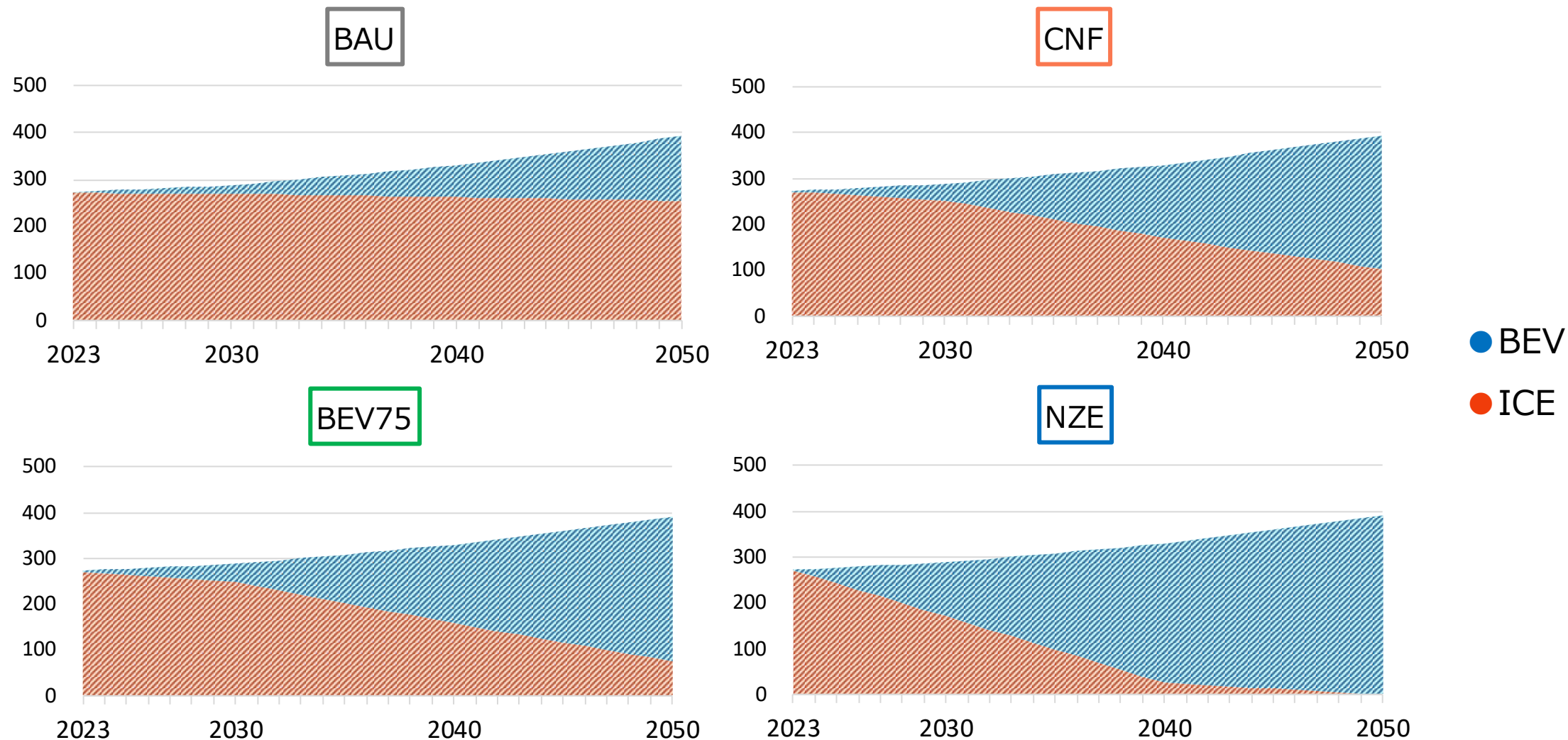
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
将来値は、保有台数の合計は「[IEEJ Outlook 2026](#)」(2025年発表)、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

ASEANの保有構成（二輪車）

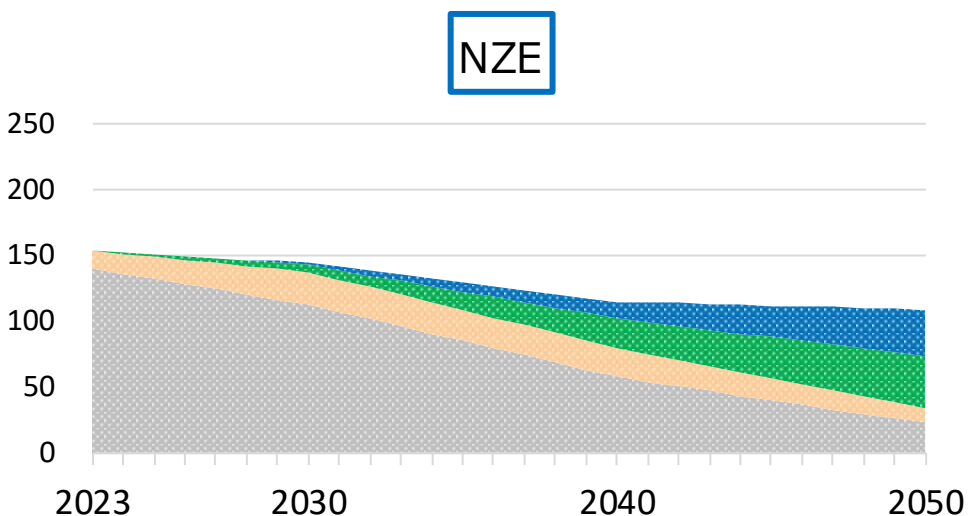
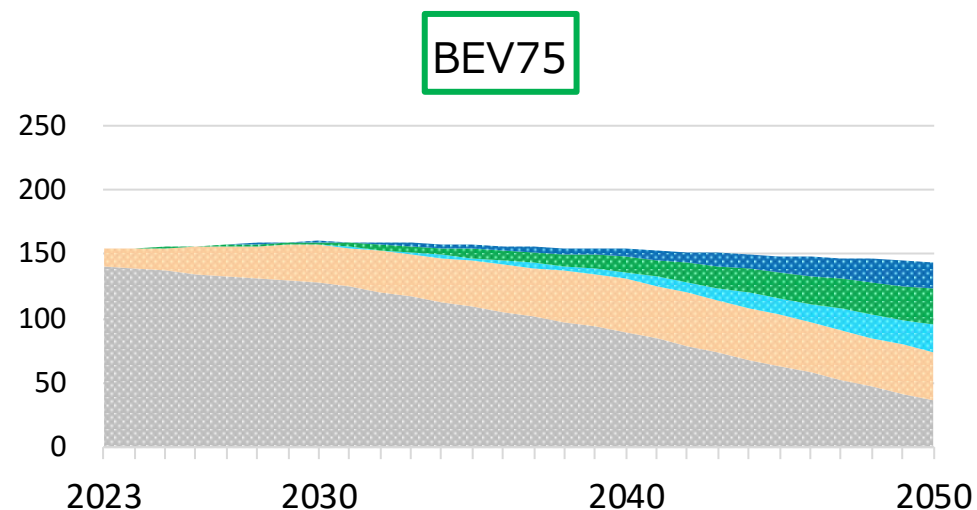
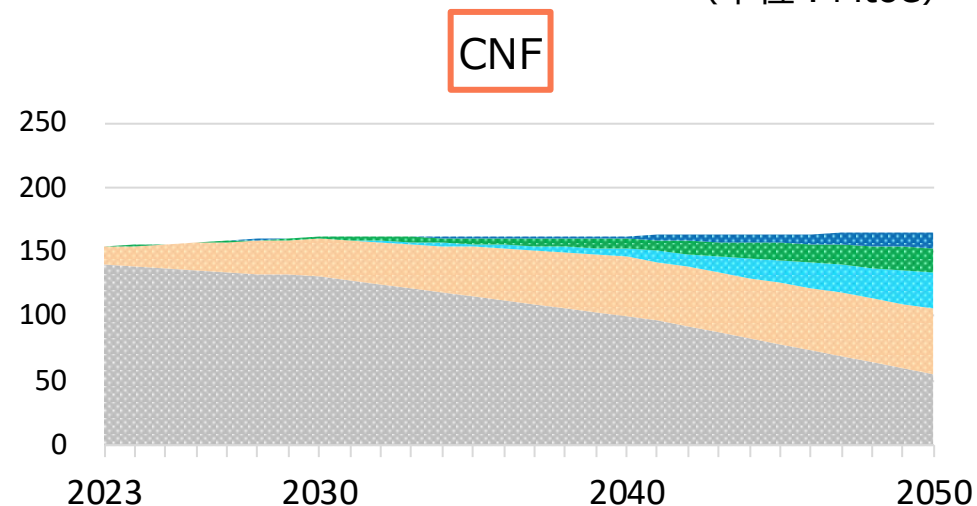
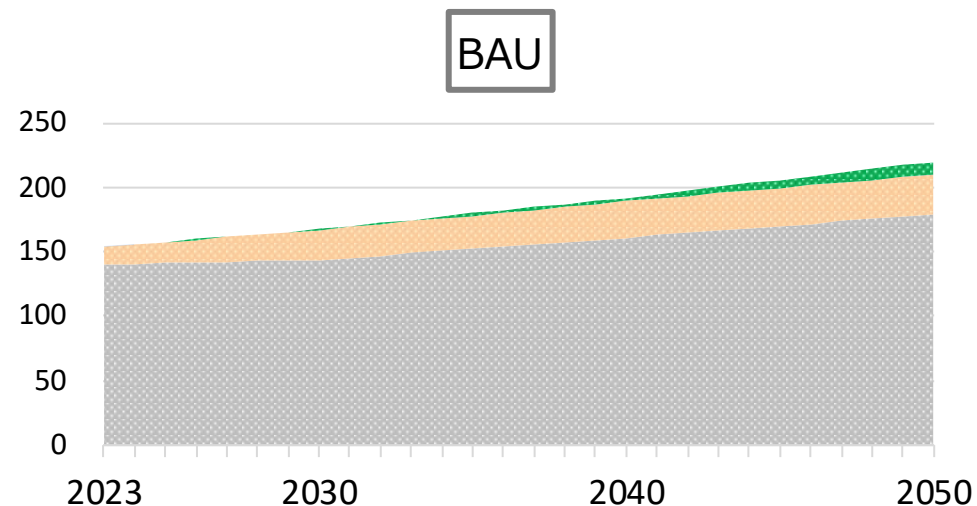
（単位：百万台）



* 実績値は[The IRF World Road Statistics](#)および各国統計等よりEDMC推計、将来値は保有台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

ASEANの燃料構成（合計）

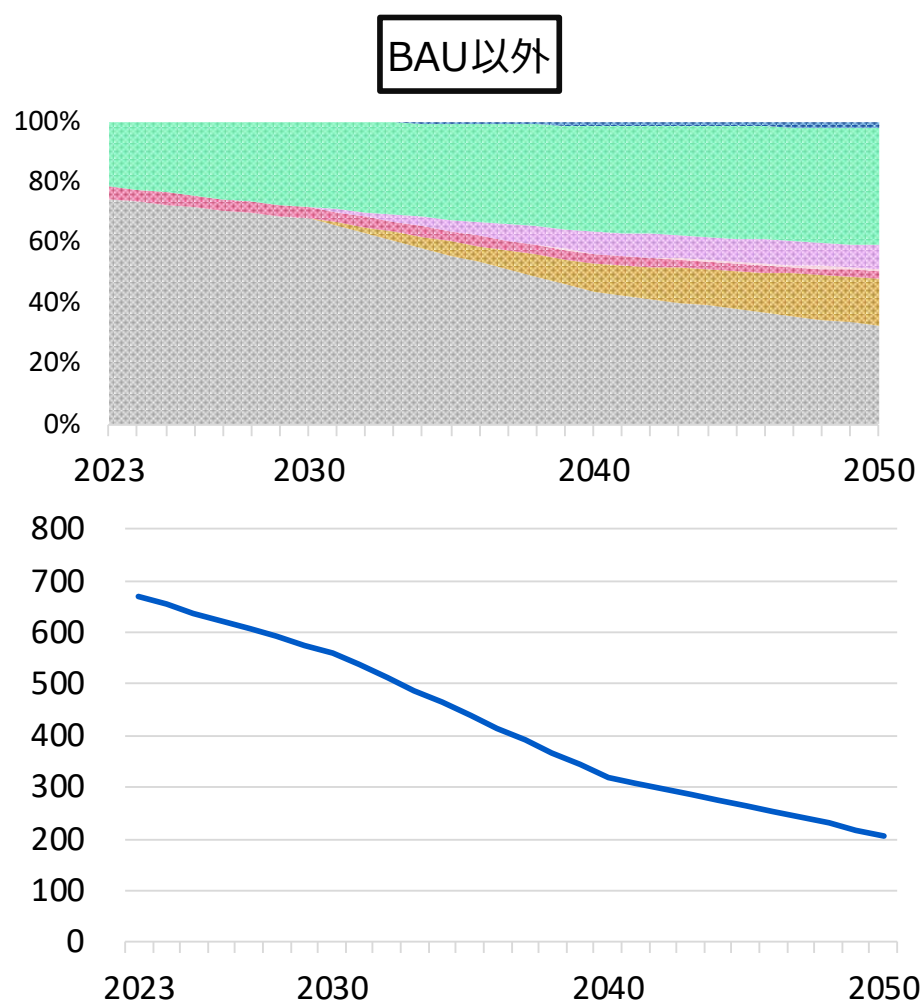
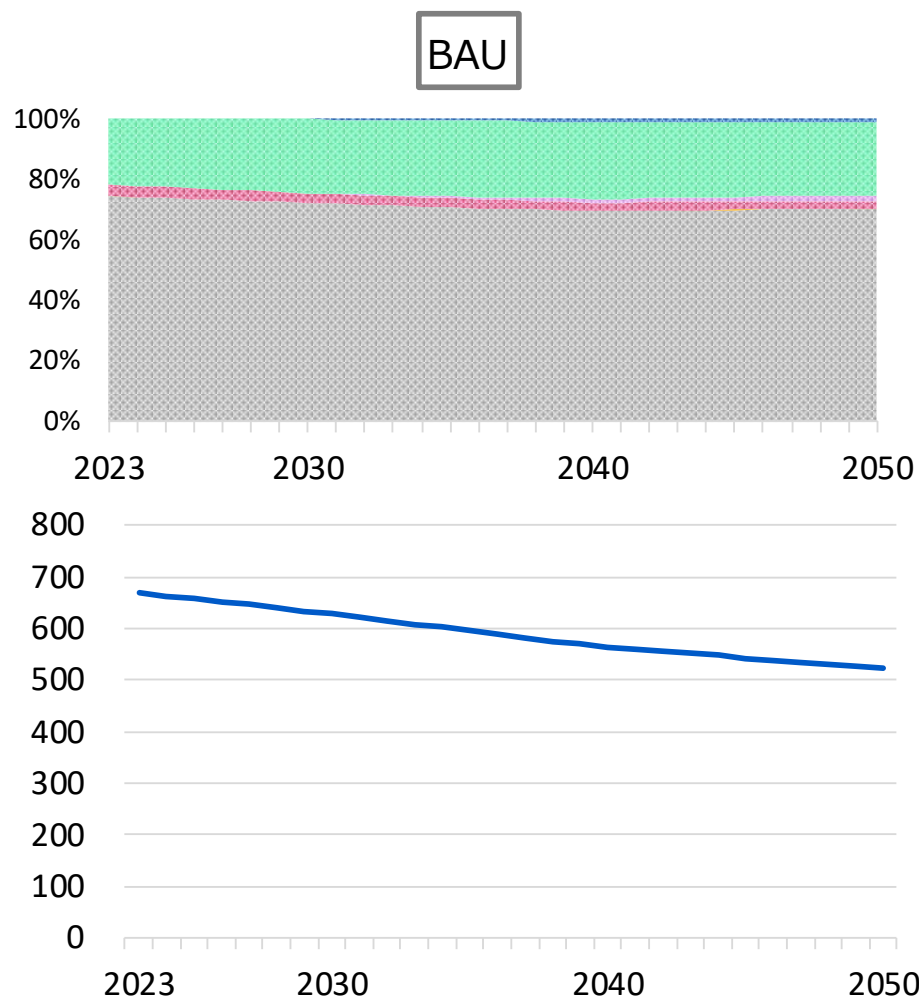
（単位：Mtoe）



- 水素
- 電力
- 合成燃料
- バイオ燃料
- 石油

* 実績値はEDMC推計、将来値は自工会のシナリオを基にEDMC推計

ASEANの電源構成

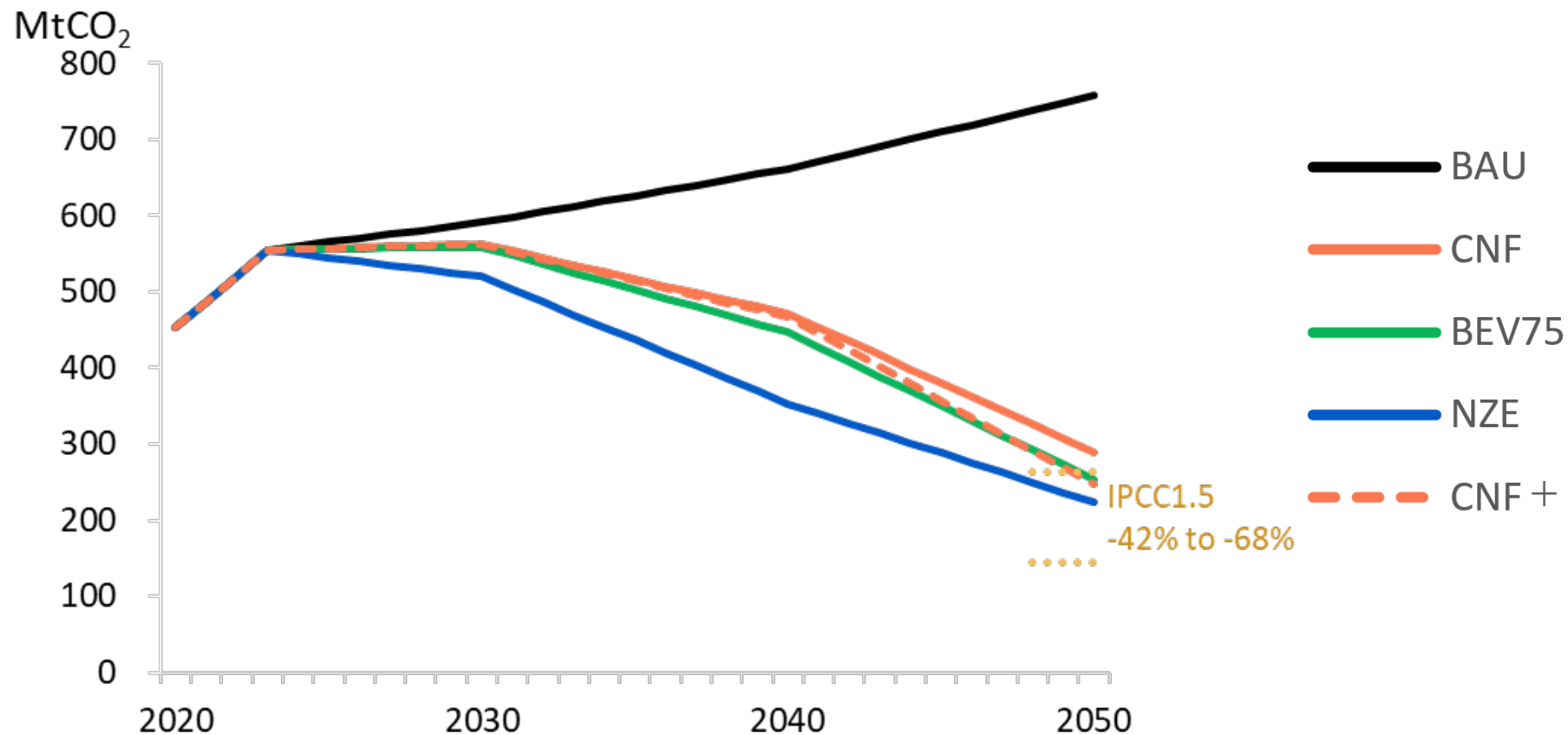


- 水素
- 再生エネルギー
- 原子力
- バイオマス+CCS*1
- バイオマス
- 化石燃料+CCS*1
- 化石燃料

* 実績値は[IEA World Energy Balances](#)、将来値は「[IEEJ Outlook 2026](#)」(2025年発表)を基に推計

*1 CCS(Carbon Capture and Storage)は、発電所や工場等から排出されるCO2を回収し、地中等へ貯留することでCO2排出量削減に活用する技術

ASEANのCO₂排出量



* 「IPCC1.5 -42%~-68%」は、IPCC 第3作業部会-第6次評価報告書 Chapter10で示された、世界の気温上昇を1.5℃以内または限られた超過に抑えるシナリオにおいて、世界の運輸部門のCO₂排出量が、2050年には2020年比で概ね42~68%減少するシナリオ(4分位範囲)のこと。この範囲内もしくは下回っている場合は、IPCC1.5℃目標に整合的と判断できる水準と言える

CO₂排出量は 2020 年比で36%~51%減、CN 燃料の供給量次第では、
IPCC 第3作業部会-第6次評価報告書 1.5℃シナリオの削減幅42~68%減と同水準